



得意のフットワークで要求実現

まつお 正秀のかわら版

自宅 能登町12-58-108 能登レックスマンション Tel・Fax73-0775

携帯090-6960-4570 議員団控え室 Tel35-3368 Fax22-7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログは「まつお正秀の雑記帳」検索で

杉山議員が今後の市営住宅の方向性を質す

昨年の12月議会で日本共産党西宮市議会議員団の杉山たかのり議員は、市営住宅の今後の方向性について一般質問を行ないました。

その中で現在市営住宅の応募倍率が大変高くなって需要が増えているのに、市が今後の方向として現在約一万戸ある市営住宅を統廃合なども含めて七千三百戸に減らしていく意向を示している問題点を指摘。さらに西宮市でも447戸ある復興借り上げ住宅がどのようになるのかに関心が高まっています。20年の借り上げ期限以降も市が引き続き借り上げるか、あるいは市が買いとるように求めました。

昨年末ころから兵庫県や神戸市などが、UR(当時は住宅・都市整備公団)から借り上げた復興住宅の期限を基本的に延長しないということを表明する中で、高齢化が進み転居

できないなどの問題点などがマスコミで報道される中、宝塚市が延長の意向を示し、兵庫県も柔軟に対応すると変化をしてくており、西宮市としても早期に方向を示すことが求められています。

共産党議員団として申し入れをしました

こうした中で日本共産党西宮市議会議員団は今年の1月24日、早いところでは青木町のシテイハイツが4年後、丸橋町の

申し入れを行なう党議員団など(左から3人目が私)



ルゼフィールなどが6年後と借り上げ期限が迫っていることから、市長に対して借り上げ延長もしくは市営住宅として市が買い上げを求めると申し入れを行いました。(裏面に申し入れ全文を掲載)

副市長が「入居者に不安与えないようにしたい」と

その申し入れの場で本井副市長が、「基本は入居者に不安を与えないようにしたい」とコメントし、森田都市局長(当時)も「借り上げを延長しても高額の負担である」「買い取れば市の資産となり、将来的に市営住宅として建て替えも可能になる」「6月から9月ごろには方針を出したい」などと発言し、買い取りに向けて前向きな方向を示しました。

これを受けて党市議員団は、入居者に安心感を持ってもらうためにもできるだけ早く結論を出していただきたいと強く要望しました。